

第37回大東スポーツカーニバルまとめ(案)

1 概要

- 開会式 ・日時 平成29年10月9日(月・祝) 午前9時～
・市民体育館 大体育室
- 競技 ・日時 平成29年10月9日(祝・月) 午前9時30分～
・市立市民体育館大体育室、小体育室、会議室等
- 内容 ・開会式 約400名、来賓24名、主催者10名 計：434名
・大運動会 延べ約1,104名
・体力測定 145名
・健康測定会 289名
○参加者総数 1,972名
- 予算関係 収支決算書(別紙のとおり)
- 総括

前回実施と異なり、会場を市民体育館1箇所とし、競技種目は「大運動会」に限定したため集客力を懸念したが、協会連盟への動員もあり開会式を始め多くの参加者を得ることができた。また、今回初めて、健康測定会を実施したことは、近年の健康への関心の高まり合致して、スポーツと健康を融合した従来とは異なる市民層への啓発、参加の誘導ができたのではないかとと思われる。

「大運動会」は、昨年市民運動会を実施しているが、実施方法の事前打ち合わせの徹底、また参加申し込み、集合放送、実施、解散などの場所や内容を含めた円滑化および洗練化を図る必要があると思われる。いずれにしても、方向性は今回の内容を踏襲することが、スポーツの日に相応しいイベントして、市民への拡大および浸透するものとする。

2 検討課題

- ① 開会式は入場行進がなく、各種競技や所属団体の立札前に整列するため、式が始まっても多少のざわつきはあったが、開会式として厳粛に挙行された。今回、閉会式を予定していたが事前告知ができず、実施できなかったことは次回への課題となった。
- ② 大運動会は、前述の総括部分に加え、競技内容の適正や容量、また参加者への記念品の適正数や配布方法などの検討を要する。
- ③ 開会式を含め、体育協会連盟への参加要請、動員の一部達成されていない連盟も見受けられたが、概ね協力が得られたのではないかと。
- ④ 模擬店は、連盟の入れ替えや体育施設指定管理者の協力が得られ、1店増となり売り上げも好調であったと見受けられるが、連盟の更なる参加も望まれる。

○収入の部

(単位：円)

費 目	予 算 額	備 考
スポーツカーニバル 事務業務委託料	450,000	市からの委託料
合 計	450,000	

○支出の部

費 目	予 算 額	備 考
印刷製本費	91,600	啓発チラシ・啓発ポスター(91,600) 《52,680》
傷害保険料	73,000	傷害保険(73,000 損害賠償保険含む。) 《48,088》
参加賞品費	133,493	ティッシュペーパー箱(42,120)、遊びコーナー景品 (14,901)、大運動会景品(76,472) 《111,217》
消耗品費	20,170	参加賞用レジ袋(1,764)、段ボール(8,452)、ライ テーブル等(9,954) 《14,094》
報 償 費	40,000	演舞出演謝礼(30,000)、司会謝礼(10,000) 《10,000》
諸 雑 費	56,644	模擬店燃料費助成(25,000円、5,000円×5団体)、幟 クリーニング(11,340)、綱引き用綱レンタル代 (20,304) 《161,420》
合 計	414,907	【35,093】

《 》：昨年度分

○第38回(平成30年度)大東スポーツカーニバルについて(案)

- ・ 日 時 平成30年10月8日(月・祝) 午前9時～(開会式)、午前9時30分～(競技)
- ・ 場 所 市民体育館 大体育室(小体育室、会議室等)
- ・ 事業内容 大運動会、体力測定等

検討課題(メモ)

○開会式関係

- ① 今回から総括責任者を式典関係に位置付けたが、「駐車場関係」、「模擬店関係」、「大運動会関係」および「閉会式関係」を置き、それぞれの迅速化と円滑化を進めてはどうか。
- ② 開会式参加記念品を配布する際、実行委員会から2名の要請を行ったことは一步前進。しかしながら実行委員会の構成員が事前に某団体分を確保したことから、不足または丁度という事態となったことから、主催者については開会式への参加者を除き、配付後在庫があれば担当者分としてはどうか。

○大運動会関係

- ① 競技の用具置き場の位置付け、また1階観客席を競技場所と区分するための三角コーンならびにコーンバーで仕切ってはどうか。
- ② 総括でもふれたように、競技受付の位置付けを明確にするとともに、受付要員を種目担当から派遣してはどうか。
- ③ 今回も競技種目によっては、責任者が明確化されており比較的円滑に運営されたようであり、指示者を事前に決めておくべきである。
- ④ 参加者が多く景品が不足しがちであったが、今回は特別に確保できたこととして、次回から募集数に参加者を絞るべきである。
- ⑤ リースまたは購入という方法はあるが、競技用具の確保に努めるべきである(来年度予算要望済み)。

○閉会式関係

- ① 今回、綱引きを新たに導入し、その上位入賞者を閉会式で表彰することを予定していたが、競技終了後、景品を手交したため閉会式での内容がなくなったため、執り行わなかった。また、出席者や主催者側にも徹底されておらなかったことから明確な指示をすべきである。
- ② 後片付け、特に小体育室の畳の移動は人員を要すること、また幟や横断幕は常に特定の連盟に依存していることから、役割分担に明確に位置付けるべきである。

○番外関係

- ① 今回初めて実施した健康測定会は、総括で記述のとおり、従来とは異なる市民層を含め多くの参加者を誘導できたが、事前の用意、また当日の協力などに多くの課題を残しており、今回の手法で継続するか否か担当部署と協議する必要がある。
- ② スポーツカーニバルの2週間後に「スポーツ少年団フェスティバル」が運動会を中心に開催されており、各支部の運動資金の確保の意味もあるが、規模や市民参加の拡大という趣旨からは、統合を視野に入れるべきではないか。